

市民政策提案に対する回答
『市民協働型お祭りに関する提言書』

1 お祭りの運営組織についての提言

- ① 「苫小牧市行政改革プランNEXT STAGE」について
具体案 i 【一般市民を含めた企画小委員会立ち上げ】の提案

回 答

提案がございました一般市民を含めた企画小委員会の立ち上げにつきましては、地域に根付き市民の手で作り上げ継承していくというお祭りの本来の主旨に沿う貴重なご意見でございます。

現在、まつりを実施するにあたり、懸案事項の検討や各種行事の企画、事前準備を円滑に促進するため、常設委員会が設置されております。

この常設委員会は、本市の主要企業や団体等で構成され、実行委員会からの諮問に応じ、それぞれの団体や企業市民の立場で、まつりの運営に対し協議、検討を行っております。

ご提案にもございますとおり、市民の意見を汲み取る幅をより拡大することは、まつりを更に魅力あるものにする重要な部分であると考えます。

こうしたことから、一般市民も参加することができる常設委員会にしてまいります。

2 市民がお祭りに参加するための提言

① 「連帯感」と「達成感」の必要性和「担い手の育成」

具体案 i 【とまこまい市民おどりの活性化】の提案

具体案 ii 【子ども達がお祭りに参加出来る企画実施】の提案

回 答

お祭りというのは、ただ企画し開催され賑わいが創出されれば良いと言うものではございません。そこに根付く地域の方々と共に創りあげ参加することで、地域や人の繋がり、絆をより一層深め、それを次世代に継承するといったこともお祭りは担っているものと考えます。

とまこまい市民おどりは、昭和45年の第15回とまこまい港まつりから市民参加型として開始された歴史ある事業でございます。しかし、町内会の高齢化や子供の数の減少、経済事情や多様化する娯楽等により、徐々にとまこまい市民おどりへの参加が減ってきております。特に町内会としての参加団体の減少は近年著しく、昭和60年代～平成の初めにかけては30団体もの町内会が参加されておりましたが、ここ数年は10団体にも満たない参加団体数となっております。

ご提案にもございますように、再びとまこまい市民おどりが活性化し、また地域の方や次世代を担う子供たちが積極的に参加していただけるような魅力あるお祭りにすべく、地域や学校、企業等との更なる連携も視野に入れ、実行委員会や常設委員会、各部会において、検討してまいりたいと考えます。